

---

---

## 生活の場と看護

岩 村 龍 子 教授  
岡 本 光 代 講師  
辻 本 宏 美 助教

2 年次前期・必修

2 単位・60 時間

---

---

### 【概要・目標】

本科目では、人々の生活の場である地域で展開される看護（地域看護）について、特に個人・集団・地域の健康レベルの向上を目指して取り組む公衆衛生看護活動の実績やこれまでの発展経緯から、その基本的な考え方や方法の特徴、および看護職が果たす役割について学ぶ。

- 1) 地域における看護活動の理念や目的を理解する。
- 2) 地域における看護活動の変遷を理解する。
- 3) 地域における看護活動の場と対象の特性、展開方法を理解する。
- 4) 地域において看護職が果たす役割を理解する。

---

### 【授業内容のスケジュール】

- 1) ～ 2) 生活の場である地域で展開する看護とは
- 3) ～ 4) 地域と生活の関係
- 5) ～ 6) ヘルスケアシステムの中で機能する看護
- 7) 地域における看護活動の歴史
- 8) ～ 10) 公衆衛生看護の展開方法とその特徴
- 11) ～ 12) 学校での看護活動
- 13) ～ 14) 地域特性の把握
- 15) ～ 16) 地域保健演習準備
- 17) ～ 24) 保健所・市町村での看護活動の実際（地域保健演習）
- 25) ～ 26) 地域保健演習まとめ
- 27) ～ 28) 地域における人的資源と地域づくり活動
- 29) 公衆衛生看護における看護職の役割
- 30) まとめ

---

### 【評価】

筆記試験（60%）、レポート（30%）、出席状況および授業・演習への参加態度など（10%）により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

---

### 【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会

---

### 【推薦参考図書】

適宜紹介する

---

### 【その他】